

2014年10月16日

証券コード 9948  
東証第1部、札幌



# 株式会社 アークス

## 2015年2月期 第2四半期 決算説明会



2014年7月25日にオープンしたスーパーアークス室蘭中央店(株式会社ラルズ)

株式会社アークス

代表取締役社長 横山 清

# 2015年2月期 第2四半期 業績サマリー

## 2015年2月期 業績予想

- (1) 損益計算書
- (2) 主要5社の部門別売上高・前年比
- (3) 主要5社の状況
- (4) 貸借対照表
- (5) 2015年2月期 業績予想

株式会社アークス  
取締役常務執行役員  
古川 公一

# (1) 損益計算書



Always Rising Community Service

## ◆売上高、経常利益は過去最高◆

	金額	前年差	前年比	予想差	予想比
売上高	2,283.1 億円	0.06億円	100.0%	△26.8億円	98.8%
営業利益	65.1 億円	1.3億円	102.2%	0.1億円	100.3%
経常利益	76.4 億円	6.2億円	108.9%	1.4億円	102.0%
四半期純利益	42.0 億円	11.4億円	137.4%	2.0億円	105.0%

### ●売上高

- ✓既存店売上高・前年比はほぼ前年同水準(99.3%)、新店効果等により売上高は微増収
- ✓ラルズは既存店売上高・前年比100.7%(U:99.4%、F: 97.4%、道北:97.1%、東光:99.4%)

### ●販管費

- ✓新店増加等により経費が増加(新店・改装 前年同期9店→今期11店)。設備投資額は前年差+14.8億円

### ●営業外損益

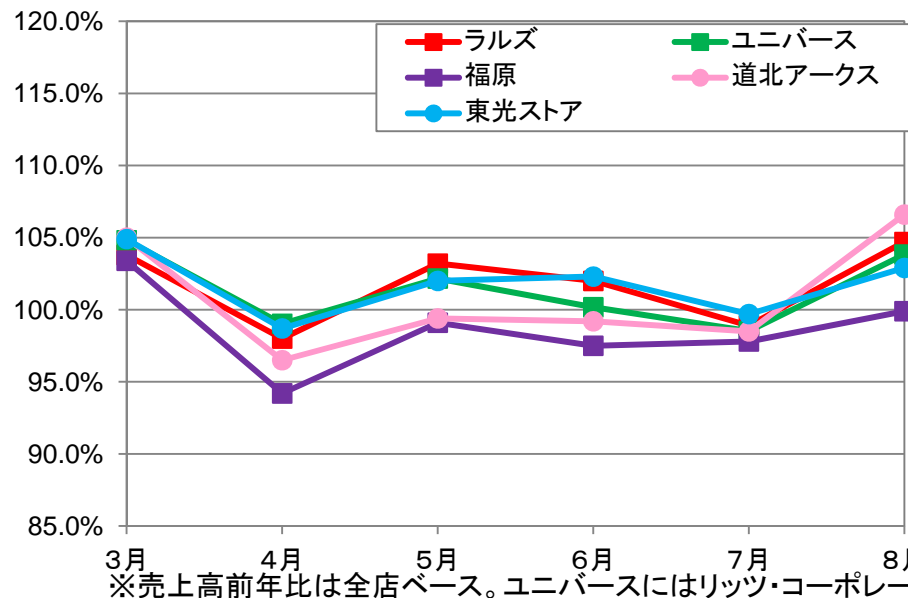
- ✓ラルズの貸倒引当金(預託敷金)の戻入益3.6億円

### ●当期純利益

- ✓前年2Qに計上したラルズ課徴金の反動増12.8億円

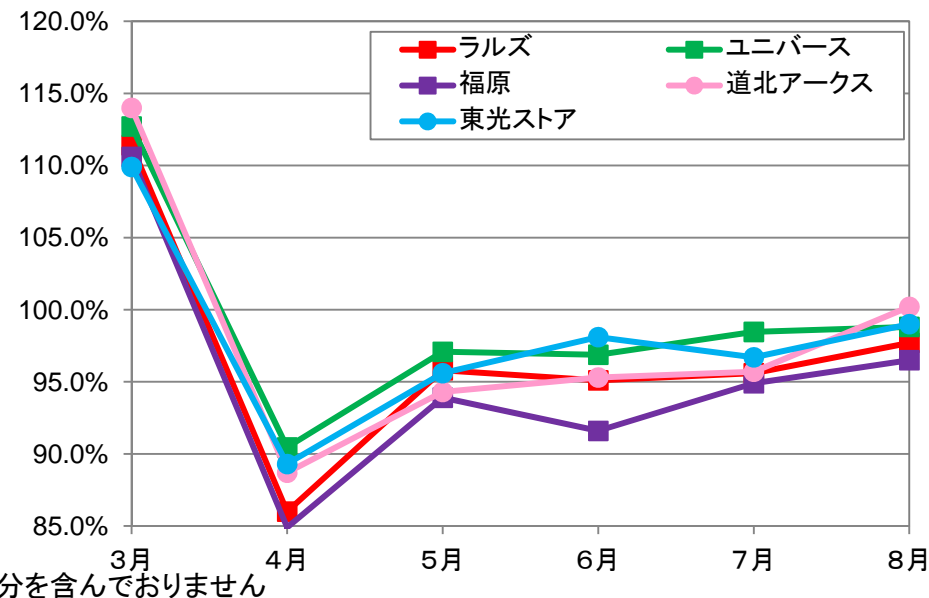
## (2) 主要5社の部門別売上高・前年比

### 生鮮食品



### 一般食品

Always Rising Community Service



#### ● 生鮮食品

- ✓ 4月に一時的な反動減があったものの、5月以降は100%をはさんでの展開
- ✓ 3月～8月累計(5社計)で前年比101.2%

#### ● 一般食品

- ✓ 3月は駆け込み需要により前年比110.8%、4月は反動減により前年比88.0%、3月～8月累計で前年比98.1%(5社計)
- ✓ 5月以降の回復鈍く、5～8月累計の前年比は96.6%(5社計)
- ✓ 特に米の前年比は、3月117.4%、4月62.1%、5～8月84.1%(5社計)と増減幅が大きい

## (3) 主要5社の状況

### ● ラルズ

- ✓ 既存店売上高(前年比) 1 Q : 101.7%、2 Q : 99.8%、2 Q 累計 : 100.7%。各月全て各社の合計値を上回って推移
- ✓ 売上総利益率25.2%(対前年+0.3Pt)、販管費率20.9%(対前年▲0.4Pt)、経常利益3,057百万円、対前年+889百万円、対計画+284百万円とグループ全体の上半期を大きく牽引

### ● ユニバース

- ✓ 2 Q 累計の前年比は、売上高102.4%、経常利益91.4%と、3月に子会社化したリッツ社開店費用の影響等により増収減益。リッツ社等を除いた前年比は売上高100.3%、経常利益98.8%
- ✓ リッツ社を含む全体の計画比では、売上高99.0%、経常利益99.8%と、ほぼ計画通り

### ● 福原

- ✓ 売上総利益の前年比99.7%(売上総利益率の前年差+0.5Pt)、販管費の前年比99.5%(販管費率の前年差+0.4Pt)、経常利益の前年比103.5%、前年差+26百万円。販管費の減少により経常利益は増益

### ● 道北アークス

- ✓ 売上総利益の前年比105.4%(売上総利益率の前年差+1.3Pt)、販管費の前年比103.4%(販管費率の前年差+0.8Pt)、経常利益の前年比121.3%、前年差+106百万円。販促の見直し等により経常利益は大幅増益。

### ● 東光ストア

- ✓ 売上高の前年比は99.3%、好調だった前年には届かなかったが、前々年比では100.7%
- ✓ 経常利益も同様に前年比91.0%、前々年比102.3%

## (4) 貸借対照表

Always Rising Community Service

総資産	1,873億円	(前期末比 105.5%、前期末差 97億円)
純資産	1,128億円	(前期末比 102.6%、前期末差 28億円)
自己資本比率	60.2%	(前期末 62.0%、前年同期末 59.8%)
有利子負債	111億円	(前期末比 88.0%、前期末差 ▲15億円)

### ●手許現金同等物は前期末より87億円増加し、320億円

- ✓ 前期2Q:261億円→前期末:232億円→今期2Q:320億円
- ✓ 株主還元、設備投資、M&A、内部留保へ充当

### ●株価、時価総額、株主還元(自己株式の取得)

- ✓ 株価  
前期2Q末 1,791円→2014/2期末 1,869円→今期2Q末 2,200円→直近(2014.10.9) 2,284円  
2014年9月30日 2,329円 東証上場来最高値を更新
- ✓ 時価総額  
前期2Q末 995億円→2014/2期末 1,039億円→今期2Q末 1,223億円→直近(2014.10.9) 1,293億円
- ✓ 自己株式の取得  
2014年10月15日 1,000,000株を取得。発行済株式総数に対する割合は1.76%

## (5) 2015年2月期 業績予想



Always Rising Community Service

2014年7月25日公表予算

(単位:百万円)

		売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
既存アークスグループ (ベルプラスを除く)	金額	459,610	13,555	15,117	6,741
	前年差	5,218	119	428	365
	前年比	101.1%	100.9%	102.9%	105.7%
ベルプラス (2014.9~15.2月)	金額	20,390	345	383	259
負ののれん発生益 及び段階取得差益	金額	—	—	—	(※1) 3,000
連結合計	金額	480,000	13,900	15,500	10,000
	前年差	25,608	464	811	3,624
	前年比	105.6%	103.5%	105.5%	156.9%

(※1) 3,000百万円の内訳: 負ののれん発生益2,500百万円、段階取得差益500百万円

(※2) 設備投資額: 第2四半期(実績)3,725百万円、通期(見込み)9,575百万円

# アークスグループの取り組み

- (1) ハヶ岳連峰経営の拡大
- (2) マインド&アグリーメント
- (3) 増税後の状況
- (4) 総攻撃

株式会社アークス  
代表取締役社長 横山 清



# (1) 八ヶ岳連峰経営の拡大



Always Rising Community Service

## ●小売業界の再編(2014年1月~)

- ✓2014年1月 H2Oリテイリングとイズミヤの経営統合発表  
イズミとスーパー大栄の資本業務提携発表
- ✓2014年3月 アークスとベルプラスの経営統合発表
- ✓2014年5月 イオンが首都圏SM連合創設発表
- ✓2014年8月 マークスが経営統合を発表(東北地方のスーパー4社)
- ✓2014年9月 アークスとベルプラスが経営統合  
イオンがダイエーの完全子会社化を発表  
ローソンが成城石井の株式取得を発表

## ●ベルプラスとの経営統合(2014年9月1日)

- ✓売上高5,000億円体制へ
- ✓東北エリアにおける売上規模は2,000 億円が視野に

## (2) マインド & アグリーメント



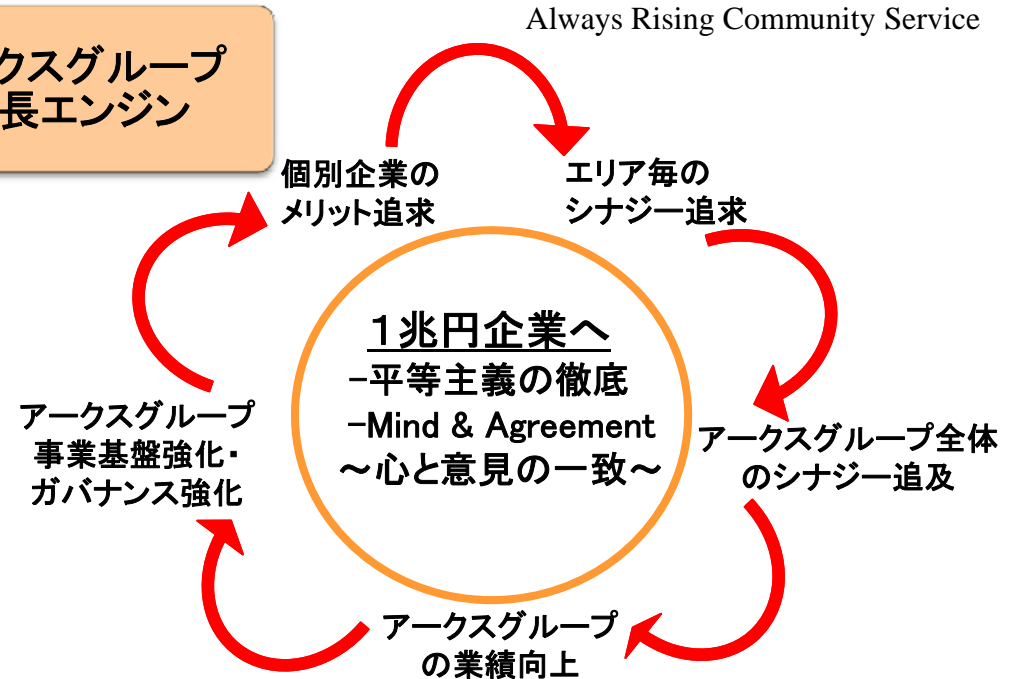
### ●アークスグループ役員合宿研究会 を開催(2014年9月)

#### <今年度のテーマ>

- ①グループガバナンスの在り方  
～今後の成長戦略・グループシナジーの  
追求～
- ②次期カード戦略の方向性
- ③AAO開発プロジェクトの具体的検討(※)
- ④次期基幹システムの考え方

(※)AAOとは「Ark(s) Ambitious Omni channel」の  
頭文字をとったものです。

アークスグループ  
の成長エンジン



アークスグループ全体で追及すべきシナジー、仕組構築

:カード、新規事業、情報システム、人事制度、後方業務集約、商品・資材調達、等々

エリア毎に追及すべきシナジー、仕組構築

:東北3社のエリア戦略、ベルプラスとジョイスの統合、北海道エリアと東北エリア、等々

子会社毎に追及すべきシナジー、仕組構築

:子会社毎(エリア固有)の営業基盤の強化、顧客支持の拡大、等々

⇒過酷な状況下でも更なる成長を実現

～一度決めたことはグループとしての実行あるのみ～

### (3) 増税後の状況

#### ●2014年7月 日本経済新聞による横山社長インタビューでのコメント

✓大都市と地方の賃金水準の差

✓消費者は6月中・下旬頃から財布の紐を締め始めた？

→ 今日現在では業界の一般的な見方として定着

#### ●今後の経済環境、消費者の消費動向への影響

✓北海道では電力料金増(家庭用15.33%、企業向20.32%値上げ)

激変緩和策:11月~3月は家庭用12.43%、企業向16.48%の値上げ

✓ガソリン代は高水準(昨年1L150円台→今年1L160円台)

✓円安の進行に伴う輸入価格の上昇

✓エネルギーコスト・人件費等の諸経費負担増に伴う商品価格の逡増

} エネルギー  
コストの増加

## (4) 総攻撃



Always Rising Community Service

- プラザ札幌店の閉店(ラルズ)

- ✓ 消費動向の変化

- スーパーアークス室蘭中央店の開店(ラルズ)

- ✓ 地方都市における新しい店舗の形態

- 酒販部門の直営化(ラルズ)

- ✓ 戦略部門

- コンシャス・カンパニーへ

- ✓ 周辺環境すべてがステイクホルダー

- 一・三・五の壁を突破

- ✓ 経営戦略、組織・管理・情報システム等の仕組みを再構築して  
次なる成長ステージへ



2014年6月 プラザ札幌店 閉店



2014年7月 スーパーアークス室蘭中央店 開店